

式 中 学 校 学 校 式
倒 壊 中 悼 哀

遺族、悲痛な叫び

都江堰「手抜き工事」を指弾

四川 大地震

【都江堰(中国四川省) げんちん】の聚源中学校
〔西堀卓司〕中国・四川
大地震で校舎が全壊し、
七百人以上の生徒が死亡
・行方不明になった四川
省都江堰市聚源鎮(じゅ
写真を手に涙に暮れ、手



聚源中学校の哀悼式で泣き叫ぶ遺族(27日午前、四川省都江堰市) 写真 小林健

抜き工事」の疑いを指弾
する悲痛な叫びが響い
た。(2面参照)

午前八時(日本時間午
前九時)過ぎ、校舎前
は鎮魂歌が流れ、集ま
た遺族は持ち寄った菓
や果物を校舎に供え、
ウソクに火をともしな
ら一様に涙。時折哀悼
のための爆竹や花火が
とどろいた。

夫と離婚し、半年前
腹部の手術で働けな
りながらも一人で娘の
洋さん(15)を育てて
きた。

「この学校に娘は厳
しい試験を通して入
ったのに」と娘の李旭
さん(15)を失った劉
明さん(36)。その脇
で、別の母親が悲し
みのあまり、息を失
って地面に倒れた。

午前十時(同十一時)
前から遺族が校舎前
の大きな花輪の前に
集まり、代表者が「校
舎の建設責任者を追
及してほしい」と叫
び、現場に亡くなった
子供たちや先生の記
念碑を作ったほしい
と訴え、政府への要
求文を読み上げた。
都江堰市教育局の
職員は姿を見せず、
代わりに現地に現れ
た防疫担当職員が「
消毒するのでどいて
ください」と遺族を
押し除けようとした。
論になる一幕もあ
った。

「この学校に娘は厳
しい試験を通して入
ったのに」と娘の李旭
さん(15)を失った劉
明さん(36)。その脇
で、別の母親が悲し
みのあまり、息を失
って地面に倒れた。

「この学校に娘は厳
しい試験を通して入
ったのに」と娘の李旭
さん(15)を失った劉
明さん(36)。その脇
で、別の母親が悲し
みのあまり、息を失
って地面に倒れた。

「この学校に娘は厳
しい試験を通して入
ったのに」と娘の李旭
さん(15)を失った劉
明さん(36)。その脇
で、別の母親が悲し
みのあまり、息を失
って地面に倒れた。

「れんが柱」大きな被害

東工大教授が現地調査

四川大地震で学校・住
宅などの倒壊が相次い
理由について二十一日
から五日間、現地調査
を行った東京工業大の
和田教授は都江堰市、

教授(耐震工学)は「壁
だけなく、柱もれんが
を積み上げただけの建
物が多かった」と指摘
する。和田教授は都
江堰市などで、学校
などの被害状況を調
査した。れんがを積
み上げた柱が天井や
床を支える構造の

竹南市などで、学校
などの被害状況を調
査した。れんがを積
み上げた柱が天井や
床を支える構造の

建物が多量に倒壊し、
被害を受けていたとい
う。一方、倒壊を免
れた中には壁などが
造りでも、柱や鉄筋
コンクリートの建物
が目立ったという。
れんがを多用した建
物が多いのは現地で
赤土が多くとれるこ
とや、建築が容易な
ことが理由とみられ
るという。
和田教授は「倒壊し
た建物があることを
考えると中国の耐震
基準自体に問題はない
が、建築現場で徹底
されていなかったよ
うだ」と指摘。今後
については「れんが
を一切使わない工法
を押しつけるのは非
現実的。はりや柱な
ど建物の骨格には鉄
筋コンクリートを用
い、れんがは二次的
に使うなどの対策が
有効だ」としている。